

# Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

平成16年11月19日 作成  
平成20年 7月16日 更新

BOX No.100811

車両情報

トヨタ マークX

X12#系

1/3ページ

ES-89Light

Type N.L.  
Opt.

平成16年11月～

① プッシュボタンスタートシステム (スマートキー) 無し車のみ

## ① 特有の注意事項 (セキュリティ機能等を使用する場合のみ)

- ※CN2のドア検出配線を、3/3ページで指定された4箇所へ接続してください。
- ※ドア検出配線を、キー照明の配線に接続された場合、それぞれ以下の機能が使用できません。
  - ①オートロック機能が、使用できません。…機能が作動しないため。
  - ②セキュリティ機能が、使用できません。…アイドリング停止時に車両側の照明が点灯して、セキュリティが作動してしまうため。

## ① 運転席側カバー類の外し方

- ①左側 (センターコンソール側) の小さいカバーを、手前に引っ張り外す。
- ②ロアカバーを外す。(下側左右にネジ1本ずつ)
- ③コラムカバーを外す。(ハンドルを回して正面からネジ2本)

## ① Pポジション配線して、フットブレーキで行う。

### A/T車設定が必要な行①のみ

(A/T車設定作業について) 配線・受信機取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

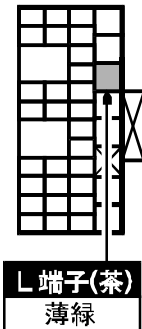
- ①車両のキースイッチをONにする。
- ②リモコンでSTOPを押す。
- ③車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
- ④車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- ⑤設定完了。

※設定作業をしないと、エンジンスタートでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2緑色) 車両配線色

① L端子の配線先は、エンジンルーム内 (ボンネット内) 正面から見て右側のエンジンコントロールECUです。

ECU左上から2番目 35P白色カプラ



L端子(茶) 薄緑

止めネジ等  
ナット ビス 隠れビス

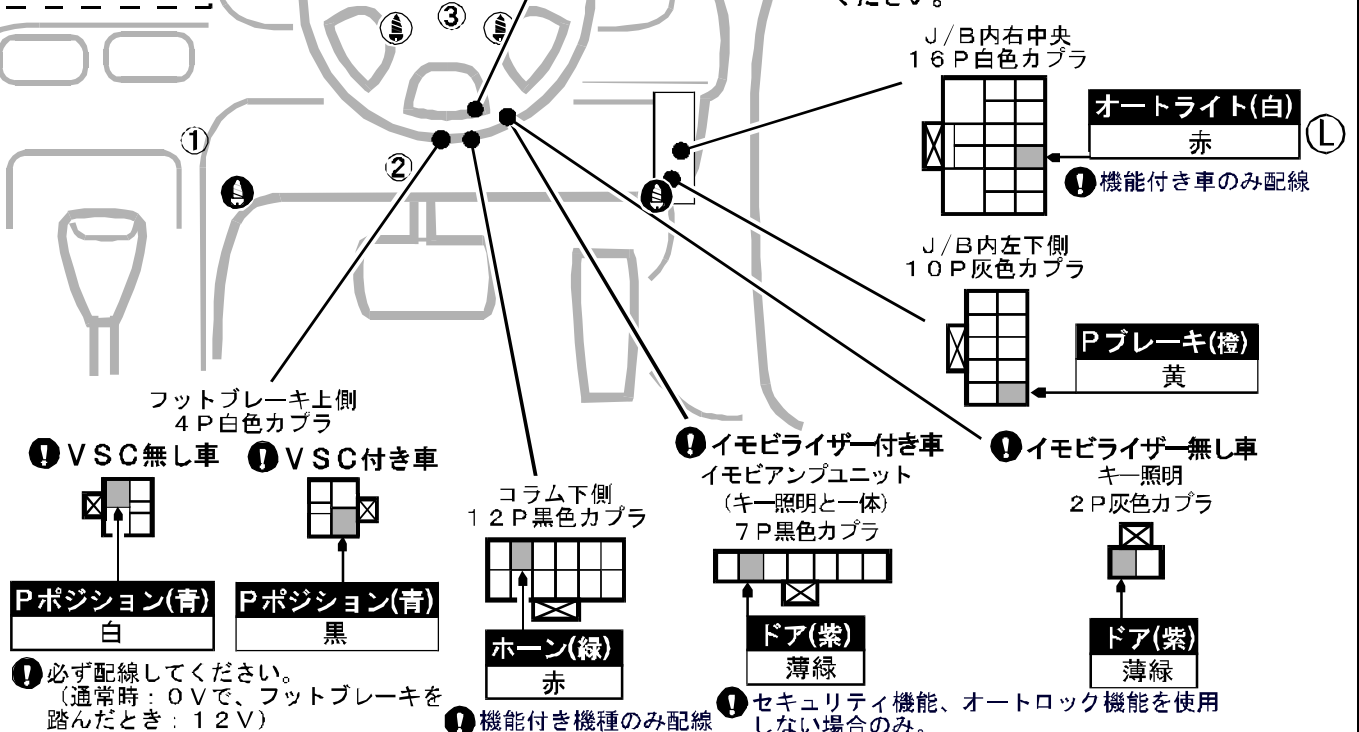
## ① イモビ対応ユニットの取り付け、及びドアロック/アンロックについては、2/3ページを、セキュリティ機能等を使用する場合のドア検出配線の接続方法については3/3ページをそれぞれ参照してください。

キーシリンダ直付け

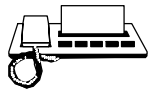


① CN2のPポジション (青色) 配線を必ず接続してください。また、左下記の手順でフットブレーキを使用して、A/T車設定を行ってください。

① クランキング固定時間の設定 (セルモータを回す時間の変更) 機能は、使用できません。誤って設定を行うと、クランキング時間が短くなりますので、この設定は行わないでください。



① この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。



# Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

平成16年11月19日 作成  
平成20年 7月16日 更新

BOX No.100811

車両情報

トヨタ マークX  
平成16年11月～

X12#系 2/3ページ

① プッシュボタンスタートシステム (スマートキー) 無し車のみ

ES-89Light

Type N.L.  
Opt.

① 注意事項

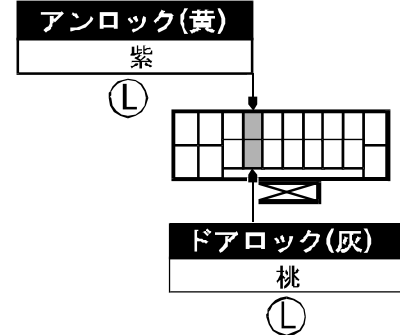
- エンジンイモビライザーシステムが装着されている車両は、エンジンスターターは、イモビライザー対応モデル (受信機に4極コネクタが付いているモデル) のみ取り付けできます。
- 取り付けの際は、T-7イモビ対応ユニット (EP088) を使用します。
- また、トヨタディーラーにて、イモビ対応ユニットの登録作業が必要です。
- 詳細は、イモビ対応ユニットの取付説明書を参照してください。

イモビアンユニット  
(キー照明と一体) の  
7P 黒色カプラ

**T-7 対応ユニット**  
7Pコネクタを割込接続

ドアロック・アンロック

運転席ドア  
パワーウィンドースイッチユニット  
白色20Pカプラ



① ドアロック/アンロック等の配線は、運転席ドアのパワーウィンドースイッチユニットのカプラに行います。

キーシリンダの下  
2P 白色カプラ



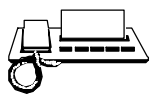
桃色配線の電圧  
キーを抜いてある時 12V  
キーを挿してある時 0V

キー検出 (桃)  
桃

① イモビ対応ユニットの桃色線 (キー差し込み検出線) を接続する。

配線内容 (受信機CN2線色)

車両配線色



# Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は ㊦ 表示です。

平成16年11月19日 作成  
平成20年 7月16日 更新

BOX No.100811

車両情報

トヨタ マークX  
平成16年11月～

X12#系

3/3ページ

ES-89Light

Type

N.L.

Opt.

ドア信号検出ユニットII (EP131)

❶ プッシュボタンスタートシステム (スマートキー) 無し車のみ

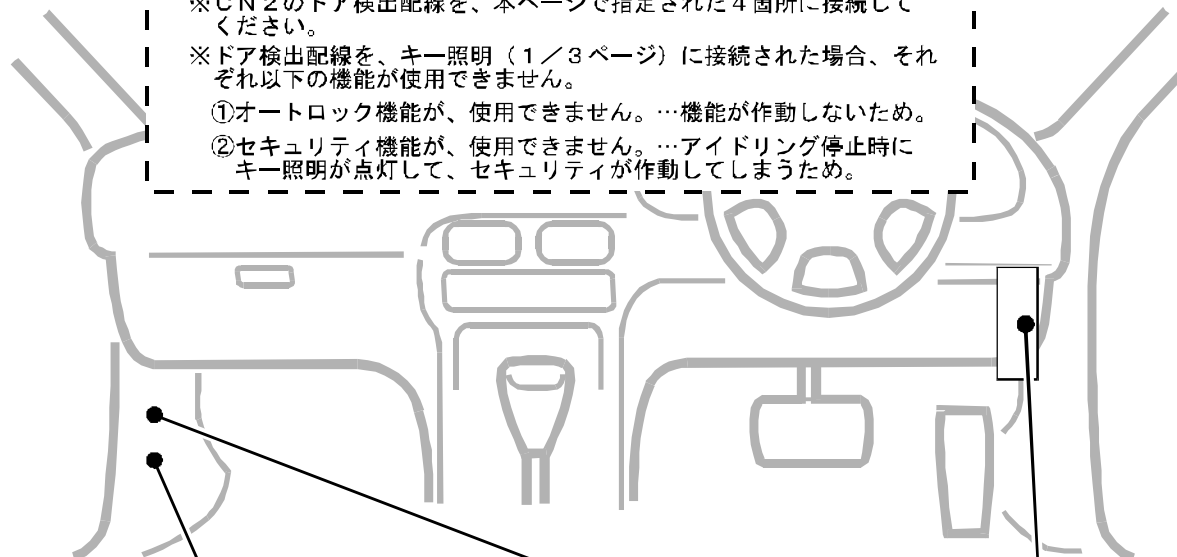
❶ セキュリティ機能、またはオートロック機能を使用する場合は、別売のドア信号検出ユニットII (商品コード: EP131) を使用して、CN2のドア検出配線 (紫) は、必ず下記の4箇所に分岐接続してください。

❶ 特有の注意事項 (セキュリティ機能等を使用する場合のみ)

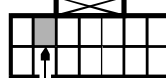
※CN2のドア検出配線を、本ページで指定された4箇所に接続してください。

※ドア検出配線を、キー照明 (1/3ページ) に接続された場合、それぞれ以下の機能が使用できません。

- ① オートロック機能が、使用できません。…機能が作動しないため。
- ② セキュリティ機能が、使用できません。…アイドリング停止時にキー照明が点灯して、セキュリティが作動してしまうため。



サイドカバー内  
3個ある上から2番目  
14P白色カプラ



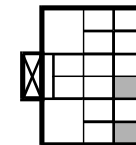
助手席ドア(白/黒) ㊦  
白又は空色

サイドカバー内  
3個ある一番上側  
22P青色カプラ



左後ろドア(白/黒) ㊦  
緑

J/B内右中央  
16P白色カプラ



運転席ドア(白/黒) ㊦  
赤

右後ろドア(白/黒) ㊦  
緑

配線内容(受信機CN2線色)  
車両配線色

# 車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

平成19年 9月 1日

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

## ■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、必ずヒューズ(25A)付きの専用ハーネス(VAS対応品)で取り付けをしてください。



❗車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、(V)の表示をしてあります。

左記の場合、VT120LがVAS対応品です。

②初年度登録が2006年(平成18年)6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

## ■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル(オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル)については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

### ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準(新保安基準)に適合しており、全国自動車用品工業会(JAAMA)の盗難発生警報装置自主基準(VAS)を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。(以下を確認してください)

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置(機能)を使用する場合、全てのドア(バックドア等も含む)開検知が必要です。

❗該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット(別売)が必要になります。

③登録証(全国自動車用品工業会自主基準登録証)は、必ずお客様にお渡しください。

❗製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しください。  
なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。